

「新しい古典学」

古典学の再構築 第5回公開シンポジウム プログラム

「古典学の再構築」では、平成13年3月27日(火)・28日(水)の両日、第5回公開シンポジウムを開催した。会場は、日本学術会議 大会議室(東京都港区六本木7 22 34)であった。

今回も多数の人々の参加を得て、充実した講演と活発な議論が展開された。両日のプログラムは以下の通りであった。本号はそのシンポジウム報告を特集したものである。

平成13年3月27日(火)/於日本学術会議 大会議室(東京都港区六本木7 22 34)

- 13:00 開会の辞 中根千枝(「古典学の再構築」評価委員・日本学士院会員)
- 13:20 総括班報告 「古典学の再構築のために」
中谷英明(「古典学の再構築」領域代表・神戸学院大学教授)
- 13:40 調整班報告 「本文批評と解釈について」
関根清三(「本文批評と解釈」班代表・東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 13:50 「本文批評と解釈」班研究報告
①イスラエル学 「ダビデの姦淫殺人事件の謎 歴史的解釈と哲学的解釈」
関根清三(「本文批評と解釈」班代表・東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 15:00 ②中国学 「天津皇子「臨終一絶」と中韓の臨刑詩」
金 文京(「本文批評と解釈」班・京都大学人文科学研究所教授)
- 16:00 ③インド学 「サティア(古インド語「実在」とウーシア(ギリシャ語「本質」)
インドの辿った道と辿らなかった道と」
後藤敏文(「本文批評と解釈」班・東北大学大学院文学研究科教授)
- 18:00 懇親会 於健保会館(～20:00)

平成13年3月28日(水)/於日本学術会議 講堂(東京都港区六本木7 22 34)

- 10:00 基調講演1 「古典学の功績 インド学の場合」
高崎直道(「古典学の再構築」評価委員・鶴見大学学長)
- 11:00 討議
- 13:00 基調講演2 「人文情報学としての古典学：その目的・対象・方法
大文字の第二次科学革命の立場から」
吉田民人(日本学術会議副会長・中央大学教授)
- 14:00 パネルディスカッション
「古典学への期待」 佐原 真(国立歴史民俗博物館館長)
高崎直道(「古典学の再構築」評価委員・鶴見大学学長)
礪波 護(「伝承と受容(日本)」班・京都大学大学院文学研究科長)
中川久定(「近現代社会と古典」班代表・京都国立博物館館長)
吉田民人(日本学術会議副会長・中央大学教授)
司会：興膳 宏(「古典学の再構築」中国学分野責任者・京都大学名誉教授)
- 17:00 閉会の辞 藤澤令夫(「古典学の再構築」評価委員・京都大学名誉教授)

[共同主催]

日本学術会議3研究連絡委員会(語学・文学, 西洋古典学, 情報学)
文部科学省科学研究費補助金特定領域研究(A)「古典学の再構築」